

# 林原美術館 NEWS

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART NEWS

vol.19

平成22年 春号

## 野々村仁清の名碗

(財)林原美術館館長 熊倉功夫

今年は岡山で国民文化祭が開催され、例年以上に岡山の文化が全国的に注目されることになります。林原美術館でもこれに合わせて今年度はいろいろと企画を立てています。

今年度の特別展として京都にあります北村美術館より茶の湯道具の名品を拝借し陳列することに致しました。故北村謹次郎翁は奈良県吉野の著名な林業家で、早くから茶の湯に親しみ、綺麗さびを好むユニークな数寄者として知られていました。茶道具を中心には教美術、石造美術、現代工芸に及ぶ幅広いコレクションは、翁の厳しい鑑識眼で選ばれた筋の通ったみごとな世界を形成しています。

今回はその中でも茶の湯の名品を展示しますが、単なる羅列ではなく、もし翁が夏の茶事をされたならば、こんな広間のお茶をされたであろうという道具の取り合わせを、掛物、花入より煙草盆まで一つながらりのものとして展示します。その中で仁清茶碗の傑作「色

絵鱗波文茶碗」(重要文化財)が主茶碗となります。あわせて当館所蔵の茶の道具を展示します。

企画展としては日本人の美意識を最もよく表現する「花鳥風月」日本の美を探る」「源氏物語と平家物語」など、また、後半には、画業にすぐれていた池田継政展や雛道具の展観を予定しています。

後期の企画については次号で詳しくお伝えします

しょう。

後期には、十

月三十日よりはじまる国民文化祭にあわせて、当館所蔵の名品、

ことに国指定の国宝、重要文化財を中心とする展示を企画中です。刀剣をはじめ絵画、漆器、染織品など、国宝、重文指定の作品



仁清色絵鱗波文茶碗(重要文化財・北村美術館)

は少なくありません。なるべく多くの品を一堂に展観できるようこれから企画してまいります。

例年通りいろいろと講演会、ワークショップ等も計画しておりますので、皆様お誘いのうえ、たびたびご来館下さいますようお願いいたします。

特別展

## 「北村美術館 茶の湯の名品と館蔵茶具」

平成22年6月5日(土)～7月25日(日)



織部松皮菱手鉢(重要文化財・北村美術館)

北村美術館は、故北村謹次郎翁のコレクションを基礎とし、昭和五十二年に京都における茶道関係の美術館の先駆けとして開館した美術館です。京都の大文字山と鴨川をへだてて相対する景勝の地に位置します。本展覧会では北村美術館の格別のご高配を賜り、ご所蔵の茶の湯道具の名品を、夏の道具の取り合わせを中心にお楽しみいただきます。併せて当館所蔵の文人茶人として知られる大田垣蓮月尼の作品をはじめ館蔵品の茶道具を御覧いただきます。

企画展

## 「花鳥風月

—日本の美を探る—

平成22年4月9日(金)～5月23日(日)



月波千鳥蒔絵料紙箱

日本人は花鳥風月という言葉に託して、自然の美を語つきました。本展では、日本の自然美が表現される近世・近代に制作された絵画、能装束、蒔絵を展示し、日本人がどのように自然を感受し、それらを表現してきたのかを振り返っていただきたいと思います。

## 「画人大名 池田継政」

平成22年12月1日(水)～平成23年1月16日(日)

第三代岡山藩主の池田継政(一七〇二～一七七六)は、三十八年間にわたり岡山藩政を運営し、致仕後は出家して後楽園などを生活の場として暮らしました。初公を開を含む継政自筆の書や絵画、所用の道具類を紹介し、これまで知られていなかつた継政の実像に迫ります。



池田継政画像(池田家歴代肖像画「縄武像」)の内

## 「雛の道具」

平成23年2月1日(火)～3月21日(月)



破七宝繫丸十字牡丹紋蒔絵雛道具の内 提重・傘

備前池田家の姫君達の雛の道具をご紹介します。豪華な蒔絵の雛道具から、実際に遊んだままごと道具まで、どれもが楽しく可愛らしいものばかりです。いつの時代も女の子の心を捉えてやまない愛らしい世界をご鑑賞くださいませ。

## 「源氏物語と 平家物語」

平成22年8月1日(日)～  
9月26日(日)

橋合戦図屏風

光源氏を主人公に王朝の雅をえがいた『源氏物語』と、源平の合戦や人間模様をえがいた『平家物語』。日本を代表する二つの物語が織りなす世界を、館蔵の源氏物語図屏風や平家物語絵巻を中心にご覧いただきます。



橋合戦図屏風

## 企画展

◆国民文化祭協賛(仮称)

**「林原美術館の  
国宝と重要文化財」**

平成22年10月3日(日)～年11月23日(火)



能装束 紅白締切菊桐文段替唐織(重要文化財)

林原美術館所蔵の名品の数々を一堂に展覧します。広く知られているように、当館は備前池田家伝来の調度品と、故林原一郎の日本・東洋古美術のコレクションから成り立ちます。本展覧会では国宝太刀銘「吉房」をはじめ、重要文化財の能装束、洛中洛外図屏風などの絵画、その他書跡、工芸品など日本を代表する美術品を御覧いただけます。林原美術館の魅力を余すところなくご紹介いたします。会期中に展示作品の入れ替えを行います。

## イベント

林原美術館では、できるだけ多くの方々に「日本の伝統美術」に親しんでいただきたいという思いで、毎年さまざまなイベントを企画いたしております。

今年もご好評いただいているものからこれまでにないイベントも加わり、さらに充実した内容となっています。皆様のご参加を心よりお待ちいたしております。なお、受付日等につきましては、当館までお問い合わせください。

**お花見・お月見・お茶会ほか**

## ◆「お花見の会「お花見野点と館長熊倉功夫を囲む会」

野点が加わったお花見の会も今回で3回目となります。今年も熊倉館長の講話、裏千家の数田宗枝先生が担当される野点のお茶席、そして彩り鮮やかな点心で春のひと時をお楽しみください。

日 時 平成22年4月3日(土)

定 員 60名(要予約)

参加費 友の会会員4,200円 一般4,700円

(弁当代含む)

## ◆「語り演奏」

昨年に引き続き今年も平家物語の絵巻を鑑賞しながら楽しんでいたいただく演奏会を開催いたします。今回は昨年出演いただきました岡橋和彦氏の演じ語りに加え、テレビ、舞台など多方面でご活躍されている岩佐鶴丈氏による琵琶、また麻生花帆氏による鼓の演奏をお楽しみいただきます。

日 時 平成22年8月21日(土)・22(日)

定 員 友の会会員3,000円 一般3,500円

## ◆「お月見の会」

恒例行事となりつつあるお月見の会ですが、芸術の秋にふさわしく今回の館長のお話はバイオリニストとして活躍後、数多くの楽曲を手掛け、天逝した指揮者の貴志康一氏のお話をお聞きいただきます。また、お話にあわせて今年はソプラノ歌手である豊田喜代美さんの独唱会をお楽しみいただきます。美しい歌声に耳を傾けながら、ゆったりとした秋の月夜をお過ごしいただければと思います。

日 時	平成22年9月23日(木)
定 員	70名(要予約)
参加費	友の会会員3,000円 一般3,500円

**◆秋のお茶会「林原美術館竹明庵茶会」**

毎年恒例となりました林原美術館竹明庵茶会を今年も開催いたします。例年と同様に亭主を熊倉館長が務め、お水屋を裏千家の数田宗枝先生が担当します。熊倉館長の講話をお楽しみください。

日 時 平成22年11月20日(土)・21日(日)

定 員 各80名(要予約)

参加費 友の会会員1,500円 一般1,800円

**ワークショップ**

## ◆陶芸教室「子供から大人まで楽しめる陶芸教室」

昨年に引き続き今回も藤原敬介先生による備前焼(緋桜)陶芸教室を開催いたします。今年挑戦される方はもちろん、昨年参加された方も大歓迎です。去年と違った品に再チャレンジしてみてはいかがでしょうか。

日 時 平成22年7月31日(土)

講 師 陶芸家 藤原敬介氏

講 場 所 林原美術館ロビー

定 員 20人(要予約)

参加費 4,000円

**◆水引結び教室「水引にふれる」**

日本だけの文化である水引にはさまざまな決まり事、歴史、用い方があります。今回はその水引について、平沢先生のお話を聞きながら、基本的には結び方、折り方を学び、お祝い事にちなんだ品を製作していただきます。

日 時 平成23年2月19日(土)

講 師 平沢直子氏

講 場 所 林原美術館ロビー

参 加 費 20名(要予約)

友の会会員3,000円 一般3,500円

